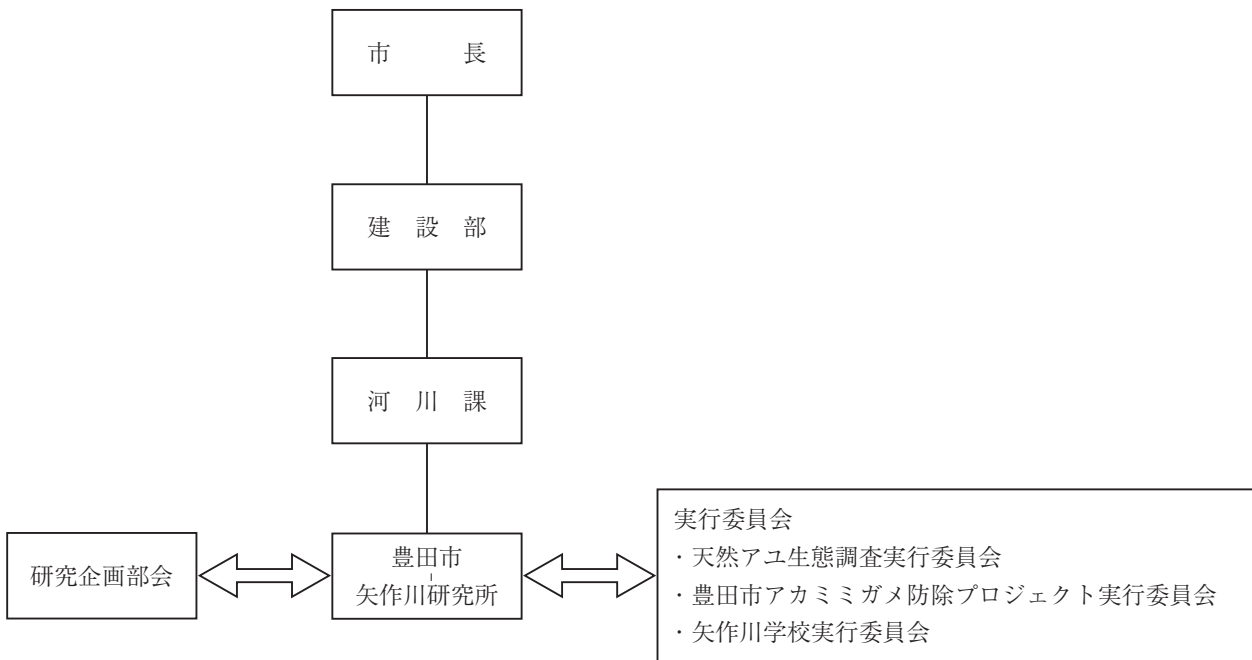


**2019（令和元）年度  
豊田市矢作川研究所事業報告**

## 設立目的・経緯

豊田市は流域住民の生活を根底で支える矢作川の豊かな自然を守るとともに、より一層の河川環境改善を図るため、平成2年から平成5年にかけて矢作川に関係する行政、諸団体、学識者等によって構成される「豊田市矢作川環境整備計画検討委員会」を設立しました。本研究所はその委員会の提言を受け、計画の実現と発展を目的として平成6年7月に豊田市と矢作川漁業協同組合、枝下用土地改良区（現 豊田土地改良区）の民間2団体との第三セクター方式で発足しました。現在は豊田市の研究機関として、矢作川の豊富な水量の維持、水質の保全、住民の生活にうるおいとゆとりを与える良好な河川環境の維持と創造をめざして調査・研究活動を行っています。

## 組織図



## 職員

職名	氏名	専門分野
所長	酒井 齊	
担当長	高橋啓太	
事務担当	濱野綾子	
事務担当	中根久代	
主任研究員	山本敏哉	魚類
主任研究員	洲崎燈子	植物
研究員	山本大輔	魚類
研究員	内田朝子	藻類
研究員	白金晶子	水生生物
研究員	吉橋久美子	社会学
研究員	浜崎健児	昆虫

## 研究企画部会

豊田市矢作川研究所において実施する調査研究活動を推進し、市民生活の豊かさに寄与できるよう、平成30年度に庁内関係部、河川管理者、研究アドバイザーからなる研究企画部会を設置。

職名	所属	役職	
部会長	豊田市 建設部	部長	
会員	豊田市 企画政策部	副部長	
会員	豊田市 地域振興部	自治推進室長	
会員	豊田市 環境部	副部長	
会員	豊田市 産業部	農林振興室長	
会員	豊田市 都市整備部	副部長	
オブザーバー	国土交通省豊橋河川事務所	事業対策官	
オブザーバー	愛知県豊田加茂建設事務所	企画調整監	
アドバイザー	関西学院大学	教授 古川 彰	環境社会学
アドバイザー	大阪府立大学	名誉教授 谷田一三	河川生態学・分類学
アドバイザー	東京学芸大学	教授 吉富友恭	魚類生態学・環境展示論

## 研究所事業概要

### 1. 矢作川生態系リフレッシュ調査

**事業目的** 矢作川に複数設置されたダムは、河床構造の改変や取水および河川流量の制御によってアユをはじめとする生物相に大きな影響を及ぼしていると考えられる。その因果関係を明確にし、対策方針を提案するために、河床環境を変化させて現場実験を実施するとともに、河川流量の変動に関する情報収集ならびにアユの生息状況調査を実施する。

**事業概要**

1. 阿摺ダム下流のソジバにおいて、河床環境を変化させた実験の3年目の観測を行った。ソジバの位置づけをするために、中流域の3か所（広瀬、古嵐、豊田大橋）とソジバを比較する調査、次期研究計画として河道内の砂礫を用いたクレンジング実験の検討を行った。
2. 明治用水頭首工耐震化対策工事に伴い、東海農政局矢総二期事業所と連携して工事区域内の水生生物の記録と避難を実施した。

### 2. 河畔環境整備支援

**事業目的** 河川管理者と行政と市民との共働による持続的な自然保全活動によって、矢作川の荒廃した河畔林の景観を改善し、多様な生物の生息する環境に再生させる。また、市民による川の恵みを生かした水辺愛護活動の支援を行う。

**事業概要**

1. 川辺づくりガイドブック（草地編）を作成した。百々水辺愛護会活動地で有用植物であるヤブツバキの生育環境と結実量の調査と、異なる植生環境における昆虫の多様性を比較する調査を行った。
2. 水辺愛護活動の活性化をめざし、会員によるニホンミツバチの養蜂と採蜜会開催の支援を行った。また、メンマや椿油づくりによる愛護活動活性化の可能性について検討した。
3. 大河原水辺愛護会、百々水辺愛護会、初音川ビオトープ愛護会でワークショップを行い、管理・活動計画図を作成した。

### 3. 河川等環境調査研究

**事業目的** これまでの調査で把握した河川が抱えている問題に対し、その解決方法を提案するための調査研究を行う。

**事業概要** 豊田市アカミミガメ防除プロジェクト実行委員会事業として、2018年度まで環境省プロジェクトに参画し、地域住民・産・学・官の共働体制での外来種防除モデルの構築、実践を行い、防除マニュアルとしてとりまとめた。2019年度からは防除マニュアルを活用した地域活動の支援、防除効果の評価指標の検証等に取り組んでいる。

1. 地域からの依頼に基づき、防除マニュアルを活用して、防除活動や啓発活動を支援した。
2. 評価指標検証の基礎データ収集のため継続防除区間で防除を実施し、捕獲数、種構成、大きさの変化等を把握した。また、目視調査を実施し季節変化を把握した。
3. 地域活動への発展に向けて、地域の企業と共働で逢妻女川、逢妻男川で水生生物調査を実施した。

### 4. 矢作川流域モニタリング調査

**事業目的** 矢作川本川の上流から下流において、生物相を把握することを目的にモニタリング調査を実施する。また、間伐をおこなった人工林において林内の植生、平水時の流量ならびに土砂流出量の変化を把握する。

**事業概要**

1. 矢作川本流におけるコケ植物の流程分布および季節変化を把握した。
2. 外来生物（カワヒバリガイ・オオカナダモ）の経年変化を把握した。
3. 矢作川の流程における水温の日変化および季節変化を明らかにした。
4. 早春における水生生物の経年変化を把握した。
5. 人工林を間伐する前の林分と林床植生、林内の光環境の調査を行った。

## 5. ふるさとの川づくり事業

**事業目的** 市内の多くの中小河川において土砂の堆積、草の繁茂による、景観の悪化、川で遊ぶ親子の姿が見られない、治水安全度が低下し浚渫費や草刈費の増加などの問題があるため、地域住民の手による身近な小川の自然再生を通して地域の自然への愛着を醸成し、市民と共働で守り続ける自然豊かな川づくりを実施する地域づくりを行う。

**事業概要** 豊田市が管理する河川において、浚渫工事に合わせた多自然川づくりを地域住民と共働で行い、地域に愛されるふるさとの小川を再生する。

### 1. 次期取り組み河川の決定

モデル河川岩本川の事例をもとに事業紹介パンフレットを作成し、広報とよた9月号、豊田市役所ホームページ等で公募を行った。公募の結果、広沢川（猿投町）に決定し、地域の関係者向けに事業説明会を行った。

### 2. 岩本川の活動支援

平井小学校による校外学習を岩本川創遊会とともにサポートし、生物の解説などを行った。また、地域の親子向け川遊びイベント「岩本川探検隊」の内容の企画、当日の運営補助を実施した。ラグビーワールドカップ開催年であり、豊田スタジアムでの試合開催があったことから、ワークシートの内容をラグビーのポジションを参考にするなど大人も子どもも関心を高められるように工夫をした。また、次期取り組み河川での活動開始に向けた注意点等を把握するため、岩本川創遊会ワークショップを開催し活動のふりかえりを行った。

平井小学校の川学習 6月11日（2年生）、9月20日（2年生）

10月1日（2年生、1年生合同）、10月2日（2年生、1年生合同）

岩本川探検隊 7月28日 テーマ：ラグビーワールドカップ 親子8組16人

ワークショップ 10月27日（岩本川創遊会）

## 6. 研究所報等の発行

**事業目的** 調査研究活動の内容と成果を、広く社会に公開するために年報・季刊誌・広報誌等を発行する。

**事業内容**

- ・所報「矢作川研究No24」を作成・発行 発行部数：600部
- ・季刊誌「Rio No.211～214」を作成・発行 発行部数：各1,500部
- ・メールマガジン「いいじゃん！矢作川！27号～36号」を配信 登録者数：138人
- ・ホームページを更新

## 7. シンポジウム等の開催

**事業目的** 調査研究活動の内容と成果を、広く社会に公開し、「ふるさとの川—矢作川」を再認識し、河川及び周辺地域環境の回復・維持の一助とするために開催する。

**事業内容** 令和元年度 豊田市矢作川研究所シンポジウム

以下の通り開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった

日 時：令和2年2月29日(土) 13:30～17:00

場 所：豊田産業文化センター 小ホール

内 容：報告・話題提供

- ・河床改善実験の成果報告 豊田市矢作川研究所
- ・越戸ダム下流での置き土実験の紹介 国土交通省豊橋河川事務所
- ・アユと河床改善に関する全国の事例 高橋勇夫（たかはし河川生物調査事務所）

パネルディスカッション

「天然アユが元気に暮らす川づくり」

パネリスト：高橋勇夫（たかはし河川生物調査事務所）

内田臣一（愛知工業大学）

赤堀良介（愛知工業大学）

村上哲生（中部大学）

田平 学（矢作川天然アユ調査会）

コーディネーター：山本敏哉（豊田市矢作川研究所）

## 関連団体事業概要

### 1. 天然アユ生態調査実行委員会

- 事業目的** 矢作川の良い河川環境の指標を天然アユが大きく育まれる生息環境と位置付け、その生態調査を主体とする調査研究事業を行い、生息環境の改善手法を関係機関に提言または関係機関と共同で実践することにより、良好な生態系が営まれる河川環境の保全創出を図り、自然豊かな矢作川を次世代の子どもたちに引き継ぐことを目的とする。
- 事業内容** 天然アユの生息状況調査、生態解明研究、生息環境の改善に寄与する計画策定及び実証実験等を行う。本年度はソジバ再生実験の継続調査、産卵場の予備調査等の現地調査を実施した。
- ・実行委員会の開催
    - 第10回（6月7日）、第11回（11月12日）、第12回（2月14日）
  - ・現地調査等
    - アユ遡上調査
    - 阿摺ダム下流における河床改善実験（ソジバ再生実験）
    - 産卵環境改善に向けた予備調査（産卵場調査）
- 構成団体**
- ・矢作川漁業協同組合
  - ・矢作川天然アユ調査会
  - ・国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所
  - ・愛知県豊田加茂建設事務所
  - ・豊田市

### 2. 豊田市アカミミガメ防除プロジェクト実行委員会

- 事業目的** 豊田市内を流下する逢妻女川および逢妻男川に生息するミシシippiaアカミミガメの防除を地域住民、協力企業、教育機関、行政機関が共働で取り組み、良好な生態系が営まれる河川環境の保全創出を図る。
- 事業内容** 2019年度はこれまでの成果をもとに活動地域の拡大、地域活動の発展を目的として、実行委員会体制を効率的な運営のためスリム化し、防除マニュアルを活用した地域活動の支援、防除効果の評価指標の検証等を行った。
- ・実行委員会の開催
    - 第1回（5月22日）、第2回（2月5日）
  - ・地域活動の支援（防除を含む活動）
    - 阿知和池（6月2日：西岡環境保全会）
    - 逢妻男川（7月7日：トヨタ車体(株)吉原工場・若園地区コミュニティ会議）
    - 猿渡川（11月1-2日：トヨタ自動車(株)上郷工場、工場周辺の自治区、豊田工業高校）
  - ・地域活動の支援（啓発活動のみ）
    - 吉原フェスタ（6月1日：トヨタ車体(株)吉原工場）
    - 貞宝まつり2019（9月7日：トヨタ自動車(株)貞宝工場）
    - 若園ふれあいまつり（11月10日：若園地区コミュニティ会議）
  - ・防除効果の評価指標の検証
    - 逢妻女川（6月1-3日：逢妻女川を考える会、愛知学泉大学、豊田市矢作川研究所）
    - 逢妻男川（5月25-27日：初音川ビオトープ愛護会、トヨタ自動車(株)堤工場、豊田市矢作川研究所）
    - 逢妻男川（9月6-8日：初音川ビオトープ愛護会、トヨタ自動車(株)堤工場、豊田市矢作川研究所）
    - 上記の継続防除により捕獲数、種構成、背甲長、性比等を把握した。
    - 継続防除区間および非防除区間での目視調査により、目視数の変化を把握した。
  - ・水生生物調査
    - 逢妻女川、逢妻男川の合計8地点で魚類、甲殻類を調査した。トヨタ自動車(株)貞宝工場の協力を得た。
  - ・その他
    - 2019年度の活動をまとめた「生きもの地域活動マップ」の印刷データを作成した。
- 構成団体**
- ・逢妻女川を考える会
  - ・トヨタ自動車株式会社堤工場
  - ・愛知学泉大学
  - ・豊田市環境政策課
  - ・初音川ビオトープ愛護会
  - ・トヨタ車体株式会社吉原工場
  - ・日本カメ自然誌研究会
  - ・豊田市矢作川研究所

### 3. 矢作川学校実行委員会

**事業目的** 矢作川流域に川のある市民生活を取り戻して、河川環境や川の文化を守る人材を養成し、さらに川遊びを通して健康な子どもを育てることを目的とする。

**事業内容** ・小中学校の環境学習及び交流館の自然観察会などの要請に応じて講師を派遣する。  
出前講座等

実施期間：平成31年4月～令和2年3月

実施状況：計14回実施 講師は延べ23人

・事業における参加者総数 1107名

#### 1. 矢作川学校開催一覧

日付	対象者	内容	講師名
2019.4.20	森林ボランティア	市民参加型「森の健康診断」手法指導	洲崎燈子
2019.4.21	森林ボランティア	市民参加型「森の健康診断」手法指導	洲崎燈子
2019.4.23	豊田市立小渡小学校1・2年生	自然環境学習講師	山本大輔 高橋啓太
2019.5.15	環境ボランティア、水生生物調査を実施する市内小学校教諭	水生生物ボランティアフォローアップ研修講師	内田朝子 山本大輔
2019.5.26	トヨタ自動車貞宝工場従業員、愛知県立豊田西高等学校生徒	自然共生活動の水生生物調査・観察講師	浜崎健児
2019.6.9	初音川ビオトープ愛護会	植物観察会講師	洲崎燈子
2019.6.18	豊田市立御蔵小学校3・4年生	水生生物観察講師	白金晶子
2019.6.29	未就学児・小学生	JAあいち豊田の田んぼの生きもの観察会における水生生物調査・観察講師	浜崎健児
2019.6.29	地域住民、その他団体	矢作川河畔散策講師	酒井 斉 洲崎燈子
2019.7.7	若園地区小学生親子	逢妻男川生き物観察会の自然環境学習講師	浜崎健児 高橋啓太
2019.7.11	豊田市立御蔵小学校1・2年生	水生生物調査講師	白金晶子
2019.7.14	トヨタ自動車貞宝工場従業員、愛知県立豊田西高等学校生徒	自然共生活動の水生生物調査・観察講師	浜崎健児
2019.8.10	永覚みどりの会	自然環境学習、水生生物調査講師	内田朝子 浜崎健児
2019.10.14	トヨタ自動車貞宝工場従業員、愛知県立豊田西高等学校生徒	自然共生活動の水生生物調査・観察講師	浜崎健児
2019.10.28	愛知県立豊田東高等学校1学年	植物および水生生物調査講師	洲崎燈子 内田朝子 白金晶子 浜崎健児
2019.11.10	若園地区住民	河川環境学習講師、ブース展示	山本大輔
2019.11.14	デンソーホテル保存会	ビオトープに関する水質管理と現地視察調査アドバイザー	内田朝子
2020.2.5	トヨタ自動車貞宝工場従業員、愛知県立豊田西高等学校生徒	自然共生活動ワークショップ講師	浜崎健児

#### 2. ミニシンポジウムの開催

令和2年3月7日（土）に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。



# 刊行物 年報 『矢作川研究』

---

号数（発行年）	タイトル	著者
No. 24（2020）	はじめに	酒井 齊
	イノシシ用の檻に集まる哺乳類の調査（Ⅱ）	梅村 錡二
	豊田市北東部の人口林域から流出する平均溶存有機炭素濃度および年間流出量の算出	松本嘉孝 江端一徳
	河川におけるダムの有無と石面付着物の強熱減量との関係 —矢作川，豊川，宇連川での事例研究—	野崎健太郎
	矢作川の河床改善によるアユの生息環境の回復：2年目の結果	山本敏哉 内田朝子 白金晶子
	河川のカメ類調査におけるUAV（ドローン）の活用	山本大輔 浜崎健児 田村ユカ 矢部 隆
	異なる方法の草刈りが初音川ビオトープの植生に及ぼす影響Ⅱ	洲崎燈子
	子どもが描いた「川と生き物の絵」は川学習の前後でどのように変化したか	吉橋久美子 山本大輔
	平成30年度 豊田市矢作川研究所シンポジウム記録 みんなで育む地域の自然 ～豊田市アカミミガメ防除プロジェクト報告会～	
	『矢作川研究』に投稿される方へのお願い	
	編集後記	



## 刊行物 季報 『Rio』

---

号数	(発行年月)	タイトル	著者
No. 211	(2019.4)	矢作川の水溫 －真夏の日周変化と出水時の変化について－	白金晶子
		川と伏流水・湧き水	鷺見哲也
		矢作川研究の今 ニホンイシガメを守ろう	浜崎健児 山本大輔
		矢作川研究所日記	
No. 212	(2019.7)	水源の人工林 間伐により得られる森の恵み	洲崎燈子
		おいでん・さんそん森林部会で「はじめての山仕事ガイドブック」を出版しました	鈴木辰吉
		矢作川研究の今 子どもたちの「川と生きもの」の絵は、川学習によってどのように変化したのでしょうか	吉橋久美子 山本大輔
		矢作川研究所日記	
No. 213	(2019.10)	続・矢作川の水中の苔	内田朝子
		川虫から見たコケ植物	谷田一三
		矢作川研究の今 矢作川のアユは産卵しているか？	山本大輔
		矢作川研究所日記	
No. 214	(2020.1)	新年のごあいさつ	酒井 斉
		川のことば「木除杭」	吉橋久美子
		矢作川研究の今 アユはどこになわばりをつくる？	山本敏哉
		水辺愛護会によるニホンミツバチ養蜂の取り組み	浜崎健児 吉橋久美子 洲崎燈子
		愛護会活動の広がりを目指して～百々水辺愛護会～	今井菊平

## 学会発表等

日付	学会名	タイトル	発表者
2019.9.27-30	日本陸水学会第85回大会 (金沢大学)	ダム下流の河床改善実験および出水によるコケ群落の動態	白金晶子・内田朝子・山本敏哉
2019.9.27-30	日本陸水学会第85回大会 (金沢大学)	矢作川中流のダム下流域に繁茂するコケ植物群落の分布	内田朝子(豊田市矢作川研究所)・山田佳裕(香川大・農)
2019.9.27-28	応用生態工学会第23回広島大会(広島大学)	河川のミシシippアカミミガメ生息調査におけるUAVの活用	山本大輔・浜崎健児・矢部隆(愛知学泉大学)・田村ユカ(名古屋大学)
2019.10.19	環境省外来種問題シンポジウム「みんなで考えるアカミミガメのこれから」(上智大学)	民・産・学・官の共働体制での防除モデルづくり	浜崎健児・山本大輔
2019.11.15-17	第43回水生昆虫研究会(中部大学・岐阜県恵那市)	矢作川中流のダム下流域に繁茂するコケ植物群落の分布	内田朝子(豊田市矢作川研究所)・山田佳裕(香川大・農)
2019.12.13-14	ミツバチサミット2019(つくば国際会議場)	ニホンミツバチの養蜂を通じた百々水辺愛護会活性化の試み	浜崎健児・今井菊平・近藤 悟・望月建彦・吉橋久美子・洲崎燈子
2019.10.20	西三河生態系ネットワーク形成フォーラム(刈谷市産業振興センター)	住民と行政の共働によるふるさとの川づくり	山本大輔
2020.1.11-12	あいち・なごや生物多様性EXPO(名古屋国際会議場)	分科会2 生態系の保全・再生 住民参加による河畔の植生管理	洲崎燈子

## ゼミ

日付	内容	講演者
2019.11.22	美しい秋吉台を守ろう! ~秋吉台の採草地再生と外来種防除~	太田陽子(秋吉台科学博物館)
2020.2.12	豊岡市におけるコウノトリをシンボルにした生物多様性の保全について	佐川志朗(兵庫県立大学大学院)
2020.2.12	サシバをシンボルにした生物多様性の保全 ~サシバのすめる森づくり~	川島賢治(豊田市自然観察の森)

## 委員等の派遣

日付	団体	内容	担当者
2019.4.1-2020.3.31	国土交通省中部地方整備局 豊橋河川事務所	矢作川流域圏懇談会	洲崎燈子
2019.4.1-2020.3.31	国土交通省中部地方整備局 豊橋河川事務所	矢作川自然再生検討会	洲崎燈子
2019.4.1-2020.3.31	愛知県企業庁・トヨタ自動車	トヨタ自動車新研究開発施設に係る 環境監視委員会	洲崎燈子
2019.4.1-2020.3.31	愛知県長久手市建設土木課	長久手市香流川整備計画推進委員会	洲崎燈子
2019.10.29	国土交通省中部地方整備局 豊橋河川事務所	矢作川水系流域委員会	山本敏哉

## 視察等受入

日付	視察団体	視察目的
2019.10.15	矢作川流域圏懇談会川部会	ふるさとの川づくり事業の取り組み

## マスコミ報道

日付	メディア	タイトル	関連事業
2019.10.25	とよたみよしホームニュー ス plus	「とってもおいしいよ」ニホンミツバチの採蜜会, 百々水辺愛護会	河畔環境整備支援